

リユース瓶管理アプリ

BINNY 



なぜリユースビンについて調べようと思ったか

- 「再利用＝エコ」に潜む落とし穴（水や輸送エネルギー）に気づいた
- 本当に環境にやさしい仕組みは何かを考えた
- 「地元だけで回す」ことでコストも環境負荷も最小にできると気づいた
- 楽しさや人とのつながりも加えれば、続けやすく広がりやすいと思った



リユース瓶とは？

A. 一度使った瓶を洗って再び使うこと。

リユース瓶について主な流れ

①お店で瓶入り飲料を購入⇒牛乳、ビール、ジュースなど

②飲み終わった瓶を回収、輸送

③洗浄、点検⇒高温・高圧で洗浄

④輸送を行い再利用

リユース瓶の問題点

1 身近な場所での回収が行われず回収率の低下が進んでいる

2 輸送コスト・二酸化炭素の排出遠くまで運ぶことで高いコストがかかる

解決のために できること

・回収率の低下

➡地域全体を上げて回収場所を増やしていく。コンビニや地域密着のお店など人々にとって身近な場所でもっと簡単に回収を行う。

・輸送コスト・二酸化炭素の排出

➡遠くまで運ぶことが無いようになるべく近い範囲で回収後の再利用を行う。

そのために

リユース瓶の管理アプリ

【BINNY 】

を提案する。

BINNY の概要

- 1 使い終わったビンを登録
- 2 近所のビン回収希望者にマッチング
- 3 受け取った人が「次の使い方」を登録
- 4 ポイントがたまる



BINNY のエコ的なメリット

【輸送コスト】 = 瓶の再利用先を近所で探すため
最小限の輸送距離！徒歩・自転車圏

【排気ガス削減】 = リユース瓶の従来のメリットである多くの
製造・焼却を行わなくて良い事に合わせて
長距離輸送による乗り物からの排気ガスを
減らすことができる。